

外国人住民の社会参加を すすめるための日本語教室へ

(公益財団法人) 千葉市国際交流協会

鈴木 恵美子

委嘱コーディネーター

萬浪 絵理

1. 事業で目指す変化
2. 必要なリソース
3. コーディネーターの役割
4. 現在の取組
5. 協働の重要性
6. 成果と課題

事業で目指す変化

	before	after
支援者の傾向	学習者の抱え込み	外との関わりを奨励
支援者が考える役割	日本語を教える	発信や社会参加を応援する
支援者が考える外国人の位置づけ	外国人は困っているから助ける	外国人は共に地域社会を創る仲間である
支援者が考える学習目的	テキストの課を進める	中身のある言語活動を行う
連携	日本語教室同士の連携や情報交換がない	協働により、教室同士に有益なつながりが生まれている
まちの多文化接触場面	情報不足による課題がある	協働によって問題解決につながる連携が生まれている

変化を起こす取組
支援者研修 ↓ 日本語教育の取組への参加・協働
プロジェクト会議や具体的な取組における協働を通じたネットワークづくり
ヒアリング、日本語クラスステップ2への外部参加者動員

日本語教育事業を実施する上で、 必要なリソース

**新しい支援者研修・日本語学習支援体制への変換
には「専門知識」「人脈」「経験」が必要。**

協会スタッフでは不足

⇒外部コーディネーター

コーディネーターの役割

- **外部コーディネーターと内部コーディネーターの役割分担と連携**
- **外部コーディネーターと協働した成果と注意点**



核となった取組 「外国の子育て、日本の子育て」



第1部 外国人住民のスピーチ

(日本での子育て経験、出身国との違い)



第2部 小グループでの意見交換と交流

参加者の感想（複数の取組分）

- **外国人スピーカー**

多くの日本人の前で経験や国の文化について話せて嬉しかった／自信になった／母国の子育て文化について改めて調べる貴重な機会になった

- **学習支援者**

膝をつき合わせて話せたことがよかった／日本語教室のヒントになるものをたくさん得た

参加者の感想（複数地域）

- **保育士、保健師**

何に困り悩んでいるかが具体的に聞けてよかった
／行政もさまざまな子育て支援を行っているが、点が線となり、その中に外国人も入りやすいシステムが必要だ

- **一般参加者**

正しいことはひとつではなく、大切にしたいと
思っていることに耳を傾けていきたい／周辺にたくさん外国人が住んでいるが、話を聞く機会も仲良くなる機会もない。もっとこうした機会があればよい

日本語学習支援者研修

- 「日本語の教え方」から「支援のスキル」へ

言語を教えるのではなく、生きたコミュニケーションを通して共に学ぶ

キーワード：

多様性、傾聴、気づき、社会参加、発信、
やさしい日本語、トピック中心、自律学習、
動機、ありたい未来、ニーズ、対話、協働

テーマ別発信型日本語クラス

「テーマでつながる日本語クラス」

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
テーマ	趣味	家族	子育て	介護	子育て	教育	自治会活動
ステップ	1 2 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3
場所	協会	協会	日本語 教室A	日本語 教室B	日本語 教室C	日本語 教室D	協会

交流協会が地域日本語教室と連携・協働することでネットワーク構築を図る

ステップ1

・準備活動

テーマについての言語化、各参加者や各国の比較、アンケート作成、役割分担、スピーチ準備等。

ステップ2

・対話の会

地域の一般参加者にスピーチ。小グループで意見交換や交流、アンケート実施、司会等の運營業務。

ステップ3

・事後活動

成果物作成。ステップ2のスピーチ録画のアップロード、要約作成、アンケート分析、報告メール作成等。

特徴

①「発信」

外国人住民は一個人として多くの経験や知識のリソースを持つ。地域につながるクラスを開設し、ことばに障壁があっても社会的発信を可能にする場を創出する。

②「協働」

ボランティアを含めた地域住民との具体的な協働作業における、生きたコミュニケーションを通じた日本語の獲得を目指す。

協働の重要性

1. 関わることによる気づき
2. 取組の自立
3. 口コミによる多文化共生意識の地域への広がり

地域の他の機関と連携する

地域の未来を学習支援者と共に考える

楽しく活動・地域に貢献

日本語コーディネーターの仕事

1. 課題解決につながる具体的な企画立案
2. 学習支援者や学習者との協働
3. コンセプト普及のための広報と巻き込み



3を省くと体制整備にならない。協働に参加してもらうため、丁寧にコンセプトを伝えるための工夫が必要。



ちば多文化協働 プロジェクト コミュニティ

[タイムライン](#) [基本データ](#) [写真](#) [いいね!](#)

ユーザー

いいね! **51**件

情報

○ 千葉市国際交流協会が文化庁の委託を受けた「生活者としての外国人」のための日本語教育事業」です

写真



 **ちば多文化協働 プロジェクト**
7月15日

【テーマでつながる日本語クラス 8月】

暑くなってまいりました。
取組も、ますます熱く進んでいきます!

テーマ 家族... もっと見る



10月9日 文化庁委託事業

ちば多文化協働 プロジェクト

テーマでつながる 日本語クラス

にほんご

家族

8/7, 8/21, 8/28

(木) 10:00-13:00 国際交流プラザ

いろいろな日本語表現について学びます。あなたの国と、
*と星のちからの隔りですが、笑顔と楽しさは、笑
*の国を越えて伝わるよ。みんなの笑顔が、

成果と課題

- **研修受講者への理解の広がり、日本語教室同士のつながり**
- **参加促進が課題**